

大分川・大野川大規模氾濫に関する減災対策協議会

甚大な被害が発生した平成27年9月の関東・東北豪雨災害等を踏まえ、九州随一の人口・資産が集中する大分川・大野川流域において、洪水による氾濫が発生することを前提に、社会全体で目標を共有し、ハード・ソフト対策を一体的・計画的に推進して洪水に備える「水防災意識社会」を再構築するため、「大分川・大野川大規模氾濫に関する減災対策協議会」を設置しました。

■大分川・大野川における大規模氾濫に関する減災のための取組方針

協議会において、国や県などの河川管理者による堤防整備等のハード対策と、地域の避難行動や水防活動などに責任を持つ大分市、由布市を中心としたソフト対策を、一体的かつ計画的に推進する取組方針をとりまとめました。

1. 取組方針の概要(資料-1)
2. 取組方針本文(資料-2)
3. 取組方針の説明資料(資料-3)

■減災のための取組の実施状況

- 平成28年10月末時点の取組状況
- 学校における保護者、教員、子供が一体となった防災講座の実施(概要)
- 学校における保護者、教員、子供が一体となった出前講座の実施状況(平成28年11月27日)

■大分川・大野川における大規模氾濫に関する減災対策協議会(第1回:平成28年6月1日開催)

1. 議事次第
2. 出席者名簿
3. 「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく取り組みについて(資料-1)
4. 規約(案)(資料-2)
5. 大分川・大野川の治水事業の経緯と現状について(資料-3)
6. 大分川・大野川における減災のための取り組み目標(案)及び取り組み方針(案)について(資料-4)
7. 議事概要



大分川・大野川圏域大規模氾濫に関する減災対策協議会

大分川・大野川圏域の大分市、竹田市、豊後大野市、由布市、県、地方気象台及び国土交通省で、河川の大規模氾濫に備えるための平成29年度の取り組み内容や平成28年度の取り組み結果を確認しました。なお、本年度より、平成28年8月の北海道・東北地方を襲った一連の台風による災害を踏まえ、本協議会の対象を県が管理する一級河川や二級河川にも拡大し、新たに竹田市、豊後大野市がメンバーとなりました。県管理河川の上流部では、現状と課題を確認し、県管理河川の下流部では、達成すべき目標と目標達成に向けた3本柱の取り組みについて、国管理河川と同一内容とする方針となりました。

■大分川・大野川圏域における大規模氾濫に関する減災対策協議会(第2回:平成29年6月1日開催)

(会議資料)

- 議事次第
- 出席者名簿
- 規約(案)

資料-1 県管理河川への拡大と今後の検討体制について

資料2-1 県管理河川における現状と課題、及び減災のため

資料2-2 の取組目標(案)について

資料-3 平成28年度の実行内容の報告について

資料-4 平成29年度の実行内容について

資料-5 緊急速報メールのプッシュ型配信について

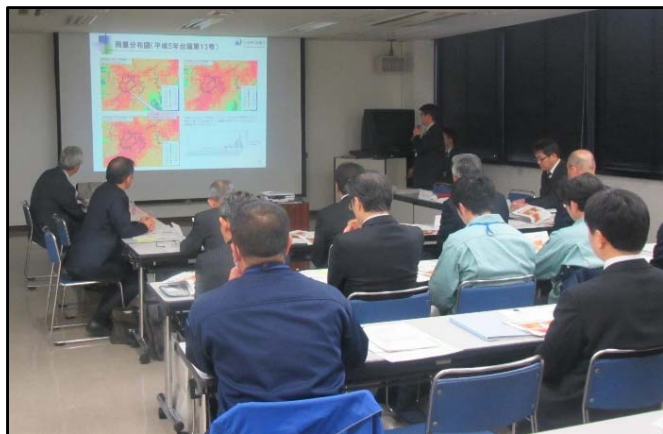
- 議事概要



平成29年出水をふりかえり、来年度の出水に備える ～出水状況・防災対応について情報共有～

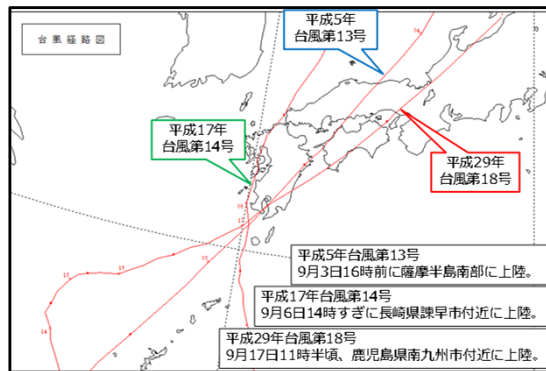
- 次期出水に備えるため、「大分川・大野川圏域大規模氾濫に関する減災対策協議会（幹事会）」の構成組織が集まり、**平成29年の出水状況や防災対応をふりかえり、報告会を実施。**（H30.1.12）
- 水害の特性及び被害状況について共通認識を図るとともに、各機関の取り組みや連携方法について、確認・検討し、今後の防災対応に関する認識を改めて共有。

- 日 時：平成30年1月12日（金）
- 場 所：大分河川国道事務所
- 参加組織：
大分市、由布市、大分県、大分地方気象台、九州地方整備局大分河川国道事務所



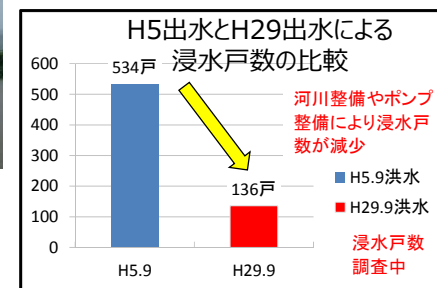
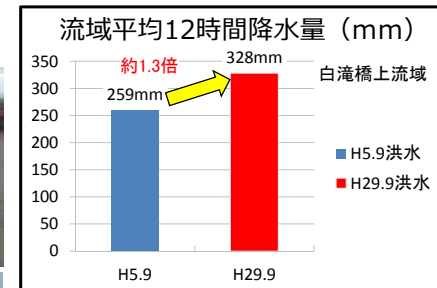
平成29年台風第18号の特徴（気象台）

- ・過去の台風と台風第18号との比較
- ・台風第18号は大野川流域南側(上流部から下流部にかけて)で**6時間に約230mm、12時間に約340mm**と短時間に大雨が集中した



大分川・大野川の出水報告（国交省）

- ・H5.9洪水とH29.9洪水を比較すると**浸水家屋数は減少した（534戸→136戸）**



被災状況報告（大分県・大分市・由布市）

- ・大分県：39件（618百万円）
 - ・大分市：8件（32百万円）
 - ・由布市：10件（37百万円）
- 計：57件（687百万円）
※道路災害を含む



<主な意見>

- ・計画的なハード整備と併せ、関係機関と連携しながら水害からの逃げ遅れを防ぐソフト対策にも力を入れる必要がある。

等

大分川・大野川圏域大規模氾濫に関する減災対策協議会

第3回協議会では、当該年度に圏域内で大きな被害が生じた平成29年18号台風等の出水状況について、各関係機関から報告・共有を行うとともに、県管理河川の上流部を対象とした、「大分川・大野川圏域における大規模氾濫に関する減災のための取組方針（上流部）」の新たな策定とともに、既に策定済みの下流部を対象とした「大分川・大野川圏域における大規模氾濫に関する減災のための取組方針（下流部）」の取組方針の一部を改定しました。加えて、大分川ダム試験湛水計画の説明を行いました。

■大分川・大野川圏域における大規模氾濫に関する減災対策協議会（第3回：平成30年2月14日開催）

（会議資料）

●議事次第

●出席者名簿

資料－1 規約及び組織改正について

資料－2 平成29年度出水報告について

資料－3 「大分川・大野川圏域における大規模氾濫に関する減災のための取組方針（上流部）」の策定について

資料－4 「大分川・大野川圏域における大規模氾濫に関する減災のための取組方針（下流部）」の改定について

資料－5 大分川ダムの試験湛水計画について

資料－6 今後のスケジュール

●議事概要



大分川・大野川圏域大規模氾濫に関する減災対策協議会

■大分川・大野川圏域における大規模氾濫に関する減災対策協議会(第4回:平成30年6月1日開催)

第4回協議会では、前回の協議会で策定した取組方針に基づく取り組み結果の報告や、今年度の取り組み内容の確認を行いました。

(会議資料)

●議事次第

●出席者名簿

資料-1 規約の改正について

資料-2-1 平成29年度の取り組み内容の報告について(下流部)

資料-2-2 平成29年度の取り組み内容の報告について(上流部)

資料-3-1 平成30年度の取り組み内容(案)について(下流部)

資料-3-2 平成30年度の取り組み内容(案)について(上流部)

資料-4 緊急速報メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信について

資料-5 JETT(気象庁防災対応支援チーム)の創設について

資料-6 大分川ダムの洪水調節について

資料-7 今後のスケジュール(案)

●議事概要

